


令和7年度 包括的な支援体制の構築・整備に向けたモデル事業 実績報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、以下に事業の概要を分かりやすく、簡潔に記入してください。

社協名	箱根町 社会福祉協議会
対象となる実践・テーマ ※いずれか1つに○をつける	(1)行政および地域の関係機関・団体、担い手との協働による包括的支援体制構築の促進
	(2)個別支援と地域支援の一体的推進、および「相談支援」「参加支援」「地域づくり」を意識した具体的実践の促進
	○ (3)その他、包括的支援体制の構築に関わる取り組み
事業名	箱根町インターナショナルコミュニティカフェ
事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕 <small>※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入して下さい。 <small>※各市町村社協ホームページ等にて本事業の掲載等を行う場合は、URL を記載して下さい。</small></small>	
【事業の目的】 町内で外国籍町民の人口が1割を超え、地域内で多国籍交流の場の必要性が認識されてきたなかで、本事業において季節行事を多く企画し、会の中心になれるような当事者の発掘を行うとともに、会の自立化、必要に応じ既に仙石原地域で立ち上がっている多国籍交流の場の会との合併を検討する。	
【取組みの概要】 「ラリグラスの会」として会を発足後4年が経ち、当初町内にネパール籍居住者が多いことから、ネパールの国の花である「ラリグラス」を会の名称にしていたが、多国籍化が進んできたことから「箱根町インターナショナルコミュニティカフェ」に名称を改め町内在住の外国籍町民が広く参加できるようにした。 事業としては、湯本地域にてサマースナックパーティ（ネパールのローカルフードを作って食べる）、ダサイン祭り（イスラム教の祭り）を実施。仙石原地域にてティージ祭り（ネパール人女性の祭り）へ協力、仙石原地域清掃&お茶会、防災セミナーを実施。多文化交流の機会とともに、地域ボランティア活動、継続して暮らすうえで必要になる知識の啓発を行った。	
【参加者の様子】 (1) 8月5日（火） サマースナックパーティ in 湯本 （湯本地域山崎集会所） ネパールのローカル料理4種を皆で作って食べながら、情報共有、ヒアリングを実施。	
	

(2) 8月25日(月) ティージ祭り

(星槎大学箱根キャンパス)

ティージ祭りは、ネパールで毎年8月から9月にかけて行われるヒンドゥー教の女性たちのお祭り



(3) 9月29日(月) ダサイン祭り in 湯本

(湯本地域山崎集会所)

ネパール人5名、日本人3名の協力を得てネパールカレーの調理を行い、皆で食べた後ヒアリングを実施。



(4) 11月26日(水) 仙石原地域清掃&お茶会

(星槎大学箱根キャンパス)

A・Bの2グループに分かれ、仙石原地域清掃を実施。75リットルのゴミ袋3袋(計225リットル)のゴミを集めた。地域住民から感謝の声掛けもあり、今後も地域で日本人に認めてもらえるよう何か地域のために貢献したいとの話が聞かれた。



(5) 3月19日(木) 防災セミナー

(星槎大学箱根キャンパス)

町防災対策室の職員を講師に招き、災害時の避難方法や災害備蓄品、情報の取得方法について講義いただいた。



【今後の展望等】

今年度湯本地域、仙石原地域を中心に各種事業を行い、仙石原地域の当事者を中心とした「箱根町インターナショナルコミュニティ(以降H I C)」という外国籍町民の団体が本格的に立ち上がった。H I Cは主に多文化共生を目的に文化交流や地域ボランティア活動を行う団体であり、外国籍町民約60名が賛同している団体である。以前より本事業において、社協が事務局として皆を導いていくのではなく、当事者団体に対し伴走型、後方支援を担うことが望ましく会の自立化を促すようなアプローチを続けてきたなかで、当事者団体を中心に団体が立ち上がったことは喜ばしい。今後本会としてはH I Cをボランティア団体と位置づけ箱根町ボランティア連絡協議会への加入、ボランティア団体活動助成を行いながら、町とも協力し外国籍町民が地域で安心して生活ができるよう支援を行う。